

此島すみ子の伝言版

話題の広場



3月11日ー被災地はまだ雪が降り、しばれる日々が続いていましたが、あれから4ヶ月半が過ぎ、今度は暑さとの闘いです。

未曾有の震災に加え原発事故が重なり、一刻を争う対応が求められているにも関わらず、政府の対応の遅れ、更にマニフェストの破綻、内政・外交の行き詰まりと、国民の暗雲は晴れません。

私も5月に陸前高田市に行って参りましたが、そこは原爆を受けた後のような・・・とは現地の方の言葉ですが、まさしく声も出ないような惨状を目の当たりにして、自然の脅威を改めて感じました。

豊島区として何が出来るか、さまざまな提案をしましたが支援物資を届ける他、区有施設を始め民間施設での被災者の受け入れ、再生自転車の提供（計330台）、そして毎週8名づつ区職員を被災地に派遣し、さらに現在瓦礫の受け入れ処理についても検討中です。東北の方々が希望を持って生活出来るよう、一人残らず健康で幸福にと、一日も早い復興を祈るばかりです。

被災地（陸前高田・一関）をお見舞いし、視察。



その上で、一般質問しました。

今、区民の関心は、①被災地の復旧・復興 ②福島原発の影響③今後いつ起こるともしれない大地震に対する本区の防災対策です。そこで、「安心と活力ある豊島をめざして」の質問をしました。



本年6月28日、第2回定例会で公明党豊島区議員団を代表して、質問させて頂きました



低成長経済における区政運営・西部複合施設の建設（エスカレーターの設置も）

- 1、危機管理と防災対策（災害発生後の役所の業務継続計画BCP・被災者支援システム・防災行政無線・携帯に頼らないで済む情報連絡のしくみ・住民支え合いマップ作り・マンションごとの震災時活動マニュアル作成への支援・震災時のペットへの対応・防災会議に女性の視点を）
- 2、健康支援策について（がん検診の無料化・ピロリ菌検査も対象に・うつ病の早期発見、早期治療が出来る医療体制を）
- 3、協働・地域力について（あらゆる年代層のさまざまな取り組みにポイント制の導入を）

これらの提案に対し、前向きに実施する答弁をいただきました。

詳しくはホームページで
URL <http://www.konoshima.net/>

